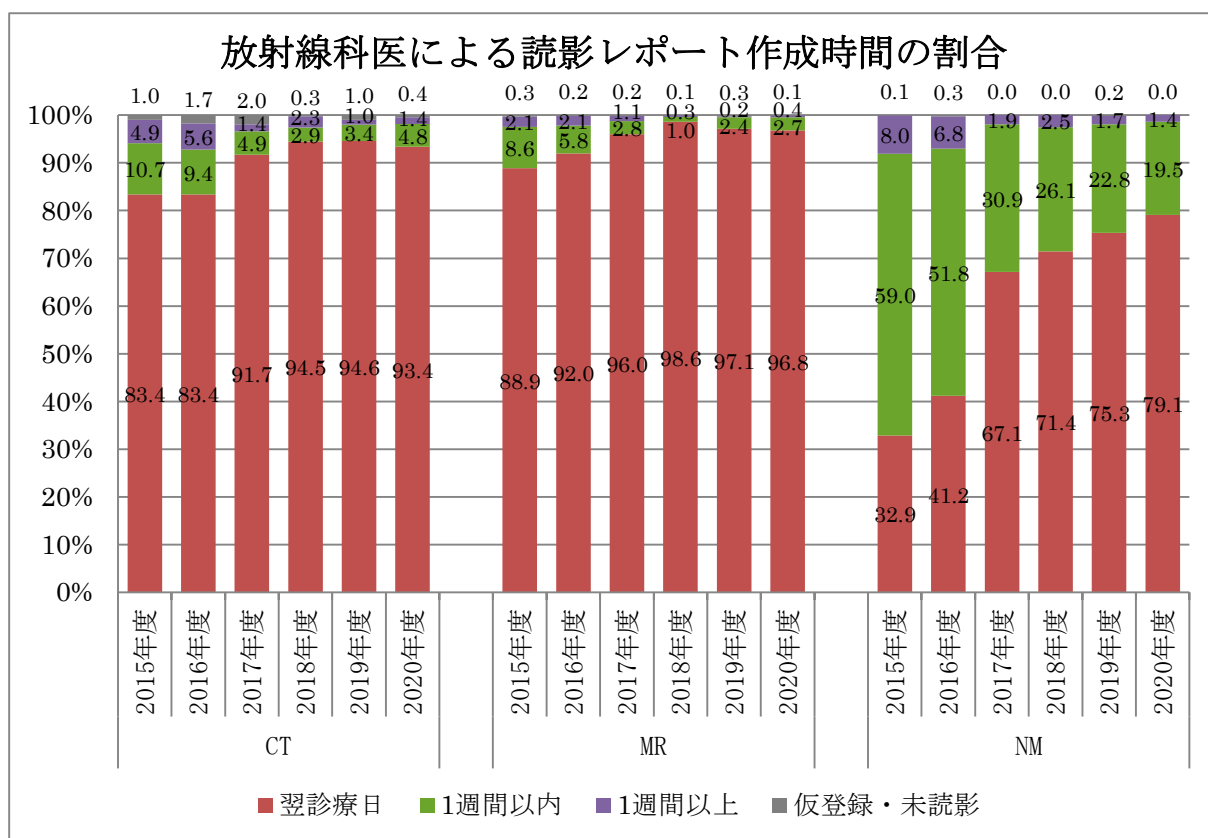


40. 放射線科医による読影レポート作成時間の割合



画像診断の専門医による読影は、正確な診断と質の高い治療を提供するために非常に重要である。画像診断報告書（読影レポート）は迅速かつ正確に作成される必要があり、読影レポートが作成されるまでの期間の短縮は、より良い医療の提供において必須事項である。

当院における検査実績は、検査室の稼働時間を拡大するなどにより、CT検査・MRI検査・核医学検査において件数の増加を達成してきた。2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、読影レポート作成件数はCT検査で前年度からわずかに減少（約0.5%減）したが、MRI検査と核医学検査では前年比約2~3%増であった。また、2018年度からは画像診断管理加算3を取得するための体制を継続しており、被ばく線量の管理や防護の最適化についても定常的に取り組むことができた。

専門医による読影レポートについては、作成に要する時間の短縮に取り組んでおり、2020年度は未作成率の低減にも取り組んだ。全ての検査において、未作成率を大幅に減少させることができ、今後も更なる対策を講じることで作成率100%を達成したい。

データ提供：放射線部